

Defi Meter AB アプリのご使用方法

ご使用前の準備

① アプリインストール

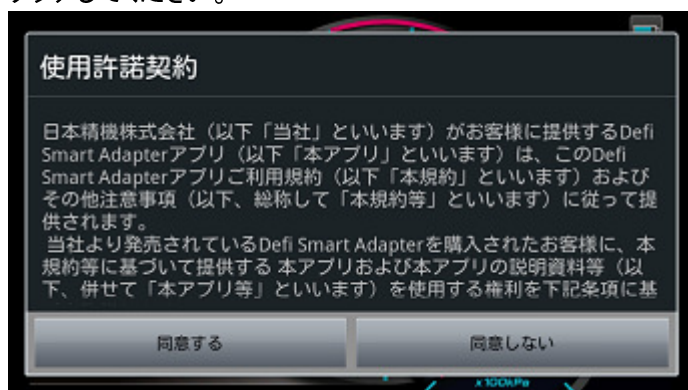
Google Play アプリを起動し、検索で“Defi Meter” と入力すると検索できますので、インストールしてください。

② Smart Adapter とのペアリング

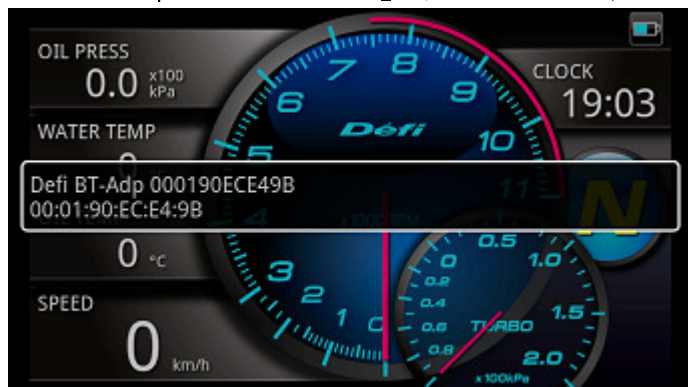
Smart Adapter の動作表示インジケータが1秒に1回の点滅をしていることを確認し、携帯端末の Bluetooth 設定から端末のスキャンを行って、“Defi BT-Adp **BT アドレス**”とペアリングしてください。ペアリング時に PIN コードを要求されたら、“0123”を入力してください。ペアリング方法の詳細は携帯端末の取扱説明書を参照ください。

【Smart Adapter との接続】

- ① アプリを起動しますと使用許諾が表示されますので、記載事項に同意していただければ、『同意する』をタッチしてください。



- ② 携帯端末のメニュースイッチを押すと画面下にメニューバーが表示されるので、『通信』にタッチし、『Defi BT-Adp **BT アドレス**』が表示されるので、タッチしてください。



- ③ Smart Adapter との接続が完了すると、画面上部の残電池表示の左側に接続中インジケータが表示されます。



【表示画面説明】

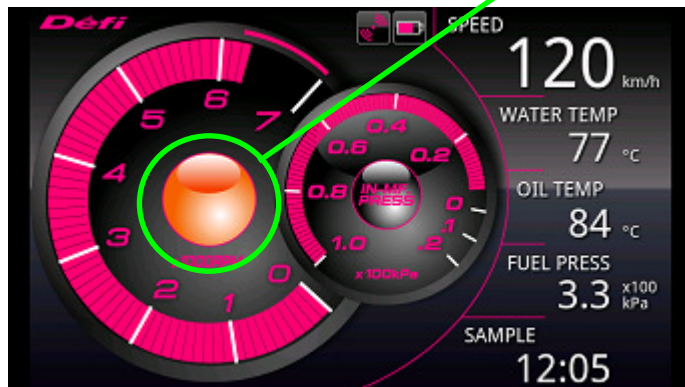
フリック動作により、メーターA表示とメーターB表示を切り替えることができます。

メーターA表示



タコワーニングインジケータ
(ギアポジション表示エリア)

メーターB表示



【表示機種変更】

表示画面のデジタル数値表示3箇所について、表示を変更したいエリアをタッチすると、表示機種を選択できます。
アナログメーターはメーターの中心部をタッチすると、表示機種を選択できます。

メーター表示のアナログ機種とデジタル機種で選択できる機種

ADVANCE とリンク接続時

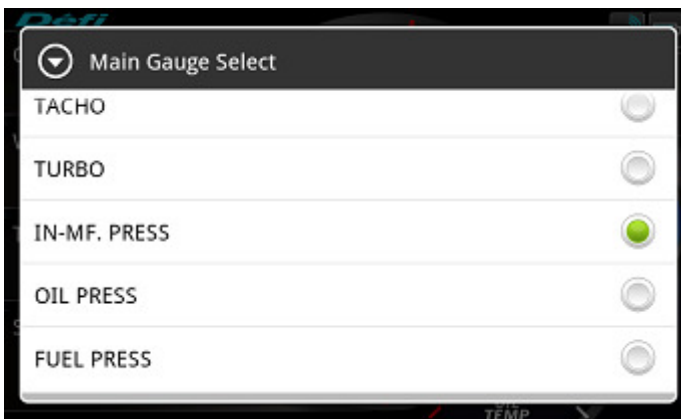
車速、タコ、ターボ、インマニ、油圧、燃圧、油温、水温、排気温度、電圧

OBD II 接続時

車速、タコ、ターボ、インマニ、燃圧、水温、電圧、スロットル開度、吸気温度

※ デジタル数値部は Blank (機種表示しない) も選択できます。

※ OBD II 接続時の表示機種は、車種によって表示できるものとできないものがあります。



【ワーニング設定】 ADVANCE コントロールユニットスイッチでの操作(スライドスイッチ:SET、WARN SET スイッチ単押し)

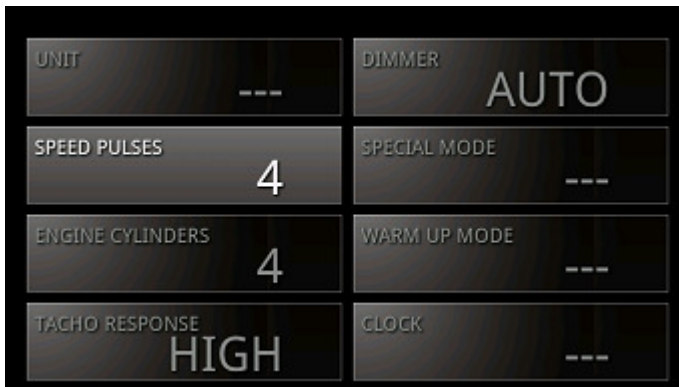


デジタル数値機種がワーニング状態と判定されると赤色で表示され、タコメーターがワーニング状態と判定されると、タコインジケータが赤色で表示されます。

詳細は ADVANCE コントロールユニットの操作説明を読んでください。

設定が終了したら、スライドスイッチを REAL の位置に移動してください。

【システム設定】 ADVANCE コントロールユニットスイッチでの操作(スライドスイッチ:SET、WARN SET スイッチ長押し)



コントロールユニットの UP/DOWN スイッチで項目を選択し、WARN SET スイッチを押すと設定内容を変更できます。設定が終了したら、スライドスイッチを REAL の位置に移動してください。

表示	設定	設定値
UNIT	単位設定	※
SPEED PULSES	車速パルス設定	2,4,8,16,FREE
ENGINE CYLINDERS	気筒数設定	1,2,3,4,5,6,8
TACHO RESPONSE	タコメーターレスポンス設定	HIGH,MID,LOW
DIMMER	調光設定	※
SPECIAL MODE	スペシャルモード設定	※
WARM UP MODE	ウォームアップ設定	※
CLOCK	時計設定	※

※ADVANCE ZD での設定項目で、本アプリでは設定できません。

- ・ 車速パルス設定
車の仕様に応じて変更する必要があります。日産車以外では4パルス設定に設定してください。車速パルスが分からない場合や、補正したい場合は FREE を選択し、60km/h で走行中にその時入力されている車速パルス情報を 60km/h と記憶して設定することができます。
- ・ 気筒数設定
エンジン気筒数に合わせて設定してください。
(点火信号を入力している場合は、1または2気筒設定で正常に動作する場合があります。)
- ・ タコメーターレスポンス設定
タコメーターの応答性を設定します。HIGH にすると応答性が速く、LOW にすると遅くなります。

【ターボ計、タコメーターのフルスケール変更】 メニュースイッチ→『設定』→

『ターボスケール』 :ターボ計のフルスケールを 200kPa、120kPa の 2 種類から選択できます。

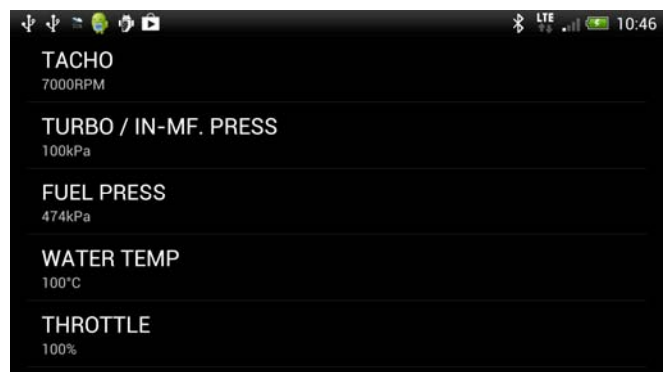
『タコスケール』 :タコメーターのフルスケールを 5,000、7,000、9,000、11,000rpm の 4 種類からから選択できます。



【OBD ワーニング設定】 メニュースイッチ→『設定』→

OBD II に接続して使用してる場合に、OBD ワーニング設定が有効になります。

『TACHO』	:エンジン回転数のワーニング設定	0 ~ 11,000rpm
『TURBO/IN-MAN』	:吸気圧のワーニング設定	-100 ~ 155kPa
『FUEL PRESS』	:燃圧のワーニング設定	0 ~ 600kPa
『WATER TEMP』	:水温のワーニング設定	0 ~ 150°C
『THROTTLE』	:スロットル開度のワーニング設定	0 ~ 100%



【ウォームアップ設定】 メニュースイッチ→『設定』→

- 『ウォームアップ表示』 : 水温、油温、水温+油温、OFF のいずれかを選択します。
ウォームアップ表示で選択された機種は、以下の設定温度に達するまでウォームアップ中(暖気中)と判断され、デジタル表示値が青色で表示されます。
- 『水温設定値』 : 0~150°C (32~302° F) の範囲で設定できます。
- 『油温設定値』 : 0~150°C (32~302° F) の範囲で設定できます。



油温のウォームアップ中表示

【ギアポジション設定】 メニュースイッチ→『設定』→

『ギアポジション表示』

: チェックボックスにチェックすると、ON になります。

ギアポジション表示を ON にすると、メーター表示画面でワーニングインジケーターの位置に、現在のギアポジションが表示されます。

『ギアポジション適用範囲』

: 最高ギアが何速まであるかを設定します。

『ギアポジション算出用車速入力』

: 各ギアポジションで、エンジン回転数が 2,000rpm のときの車速値がいくつかを入力します。この設定を行わないと、ギアポジションが正確に表示されません。



【システム設定】メニュースイッチ→『設定』→

- 『Bluetooth 自動接続』 : チェックボックスにチェックすると、ON になります。
Bluetooth 自動接続を ON に設定すると、アプリ起動中に Smart Adapter との接続が切断されている場合に、自動で接続されるように動作します。
- 『使用許諾契約書スキップ』 : チェックボックスにチェックすると、アプリ起動時に表示される使用許諾ウィンドウが表示されません。
- 『パワーセーブモード』 : チェックボックスにチェックすると、スマートアダプターと接続中に、車速 0km/h が 10 秒以上続いたときに、バックライトを自動で暗くして消費電流を減らします。
ただし、携帯端末の機種によって正常に動作しない場合があります。
- 『OBD 車速補正』 : OBD II に接続して使用している場合に有効になります。
OBD II から入力した車速値に対して、-10%~+10%の範囲で補正できます。
初期値 : 3%



【表示設定】メニュースイッチ→『設定』→

- 『指針(バー)色』 : WHITE、PINK、AQUA、YELLOW の 4 種類と、円状のカラーから選択できます。
- 『目盛色』 : WHITE、PINK、AQUA、YELLOW の 4 種類と、円状のカラーから選択できます。



- 『HUD 表示』 : チェックボックスにチェックすると、Head Up Display 表示となり、メーター表示がミラー反転して表示されます。夜間にフロントガラスなどに映して表示することができます。



【共有】メニュースイッチ→『共有』

現在表示されている画面をキャプチャして絵データとして共有できる機能です。

共有をタッチすると、共有確認メッセージが表示され、YESを選択すると、絵データの送付先が選択できます。

絵データには車速などの車両情報が含まれており、個人情報となる場合がありますのでご注意ください。

